

# ケーススタディ

(施工事例)

貯蔵タンク  
基礎部防水防食

工事名	タンク基礎廻り防水防食
施工範囲	タンク基礎とタンク本体
使用製品	ペトロラタム系防食テープ（デンジルテープ）



## 問題点：

貯蔵タンクにおける劣化要因は

- 1：底部 裏面腐食、内部腐食、溶接部疲労・欠陥進展
- 2：基礎 不当沈下、局部沈下
- 3：側板 外面腐食、内面腐食、溶接部欠陥進展 などが上げられる。

底部の腐食による事故発生が起き、裏面腐食、溶接線の劣化により潤滑油や燃料が流出した報告が上げられている。底部裏面状況は目視確認出来ないので予防処置が必要である。

解決策、予防策 裏面への雨水侵入を防止する。側面溶接部の防食処理をする。

防食効果の持続性が長い、ペトロラタム系マスティックにて基礎と底板の段差をなくし、ペトロラタム系テープを貼り付け防水、防食処理をする。さらに立ち上がりを帯状に貼り付け溶接線を防食する。

## 結果・効果

約30年前に防食防水施工したタンク基礎部の切開をした結果、ペトロラタムテープの防食効果、柔軟性は維持されて、基礎部のサビ発生も見られなかった。  
カッター等で切開できるので部分点検、復旧も容易であった。

ペトロラタム系テープのほかにシリコン系のシートにて防水する工法もある。